

## 会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成25年度 第12回
開催日時	平成25年5月18日（土曜日） 午後1時から午後3時まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：齋藤委員長、加藤副委員長、田崎委員、成田委員、本橋委員、金子委員 欠席：鶴崎委員、松本委員 事務局：日下部係長、渡邊主査
議題	(1) 第11回企画運営委員会議事録（案）の承認について (2) 基礎講座（2回）、共通講座（1回）、週間事業講演会（1回）の企画の検討について (3) 情報誌パリテの編集について (4) 講演会・講座参加者へのアンケートの設問の再検討について (5) 男女平等週間事業について (6) その他
会議資料の名称	(1) 第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書（平成23年度） (2) 新聞記事 (3) 第11回企画運営委員会会議録（案） (4) 各委員の企画書 (5) 講演会・講座参加者へのアンケート
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録    発言者の発言内容ごとの要点記録    会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会議内容</p> <p>開会</p> <p>事務局： 報告</p> <p>(1) 5月10日開催の男女平等参画推進委員会の報告について 西東京市第3次男女平等参画推進計画の骨組みである体系図を作成していることを報告した。 方向性としては第1次、第2次計画は普及啓発という意味合いもあり多くの施策を設けていたが、第3次計画は今までの計画を継承しつつより実効性を高めるために施策の数を減らす方向性であることを報告。 また、第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書（平成23年度）を前半部分の領域別評価などを中心に説明した。</p> <p>(2) 共通講座「第1回男たちの土曜塾」の5月11日、17日開催分実施報告について 事務局より参加者は各回とも12名、年齢構成としては60代と70代以上で半分ずつくらいであること、参加者には好評とのことと報告。</p>	

その後、講座に同行された委員長、副委員長より当日の様子を報告いただいた。

(3) 基礎講座「女性学を学び、生き方を考える」、共通講座「エンディングノートの書き方」の進捗状況について

基礎講座「女性学を学び、生き方を考える」については、日程が決定した。9月3日、10日、17日のすべて火曜日である。

午前か午後かは選択できる。

午前10時開始で講師と調整することになった。

次に共通講座「エンディングノートの書き方」については3月開催については講師より了承をもらっている。

具体的な日程は3月の1週目である3日から7日までの平日で午後1時30分から2時間で打診することとなった。

#### 議題1 第11回企画運営委員会議事録(案)の承認について

全員異議なく承認された。

#### 議題2 基礎講座(2回)、共通講座(1回)、週間事業講演会(1回)の企画の検討について

基礎講座として「仕事と子育てグループ相談会」と題して山口理栄講師(育休コンサルタント)を招き、育休前後の方を対象にして職場復帰などに向けて悩みや不安をシェアすることを目的として実施したいと委員より提案があった。

昨年度実施したベビーマッサージで育休中の方が多くいらしたので、育休中の方を対象とした講座を考えていたところ、横浜市でも実績のあった講座を思いついた。

講師が大変であれば、市の保健師がサポートにつくことも可能かもしれない。

募集人数は横浜市で実施した12名程度が限度なのかどうか。

保健師のサポートが依頼できるようで、募集人数が多くできるのであれば、募集人数を多くしてもよい。

タイトルも育休中にはこだわらないので、産後働くことを計画している方としても講師がよければよい。日程は10月の平日で、保育付で考える。

女性への暴力反対週間事業の講演会講師として関口久志さんの提案が委員よりあった。

また、佐野優さんとの対談形式みたいな企画ができるとよいと委員より提案があった。

対談形式がダメならレイトークもいいのではないか。

事務局は講師とも相談し、確認して、次回報告することとなった。

共通講座として「パパの絵本ライブ」と題して田中尚人講師、西村直人講師(2名ともパパ'S絵本プロジェクト)による個性的で楽しい絵本の楽しみ方を実践する講座の提案が委員よりあった。

パパ流の読み聞かせを趣旨としているが、ママの参加も可能である。

定員は5~60人。

講師が共に可能な日程は8月3、17、18、25日のいずれかの午前中で、住吉会館4階の和室を第1候補として部屋が確保できた日程でよい。

チラシを工夫してパパと子供の参加を呼び掛けるのはもちろんだが、ママがパパに子供と行くように促せるようなチラシの作り方もよいと思う。

さらに、ママ向けの講座を同日、同時刻に他部署で開催してもらえらるなら、家族で

別々の講座に参加してもらおうなどしてみると、より講座の魅力が高まるかもしれないので、事務局は他部署と調整してみることにする。

基礎講座があと1つ残っているが、パパに保活（子供を保育園に入れるための活動）を体験してもらおう講座の提案があった。

従来、ママが行うことが多い保活の大変さの一部（保育園の入園申請書を書くことなど）をパパにも体験してもらおうという趣旨で行う講座である。

講師は保育課へ打診してみることにする。

企画提案書は後日、委員より提出してもらおうこととなった。

今後の講座として、「男たちの土曜塾」講座に関連して、今年度中にも、健康料理講座（自分の健康を気遣う料理）など実施が提案された。

消費者センターの調理室は4テーブルで、講師1人が担当できる人数も限られているので、必要があれば西東京市役所と関連のある料理サークルなどにボランティアで補助をお願いする。

募集人数は20人くらいが上限。

6月8日のお団子作りの様子を見てから改めて企画することとなった。

### 議題3 情報誌パリテの編集について

委託業者の再検討の年度なので、その進捗状況の報告に留まったが、情報誌パリテの「男の料理指南」はパパクラブのメンバーにすでに了承されている。

インフォメーション、最終ページの登録団体紹介などは次回に検討する。

発行は10月の予定である。

### 議題4 講演会・講座参加者へのアンケートの設問の再検討について

アンケートの設問は大きく変更はしないが、次回再度検討となった。

### 議題5 男女平等週間事業について

講演会の内容は、ワーク・ライフ・バランスであるが、サブタイトルやチラシの配布先や受講者のメインターゲットなどは事務局に一任する。

当日の企画運営委員の役割分担は次回確認することとなった。

第13回委員会 平成25年6月15日（土曜日）、午後1時からパリテ1階活動室

閉会